

目 次

提言の要旨	1
1 提案の概要	2
2 桐生市の現況と課題	2
(1) 桐生市の概要	
(2) 人口分析	
(3) 財政状況	
3 桐生織物の歴史（盛衰）と現状・課題について	4
(1) 桐生織物の歴史	
(2) 和装産地としての桐生	
(3) 織物関連施設の現状（現地視察）	
(4) 桐生スタイルのものづくりのシステム	
(5) 桐生織物の課題	
4 提案	6
(1) 桐生市の公共資産の現状	
(2) 旧昭和小学校の状況	
(3) 旧昭和小学校の跡地利用について	
①跡地利用の全体像	
②校舎の跡地利用について	
1) 校舎の利活用について	
2) 校舎の利活用の具体的な提案について	
③グラウンドの利活用について	
1) 官民連携を検討するにあたって	
2) PFIの手法を活用したグラウンドの活用について	
3) PFI事業のスキーム	
4) VFM (Value For Money) について	
5) PFI事業の特徴	
6) PFI事業方式と類型	
7) グラウンドの利活用の具体的な提案について	
5 おわりに	14

《提言の趣旨》

地域資源を活かした官民連携による「まちづくり」

～桐生市における提案～

《現状分析》

【桐生市】

- 人口減少〔年約 1000 人減〕
- 少子・高齢化
〔生産年齢人口の減少〕
- 子育て世代の流出
- 中心市街地の空洞化
- 歳入の減少〔地方交付税〕
- 平成 24 年 7 月に重伝建地区に選定

【桐生織】

- 1300 年の歴史があり、江戸時代には、「西の西陣、東の桐生」といわれていた
- 桐生市には織物の全ての工程の技術が揃っている
- 繊維産業の事業所数は全産業の 1/3 であり、地場産業として非常に重要な位置を占めている

《課題》

- ※和装需要の減退や販売不振により産地規模自体の縮小
- ※織物事業者の高年齢化と後継者不足
- ※桐生織ブランドのPR不足と消費者ニーズとの乖離（未熟なデザイン開発）
→ 「桐生織」ブランドの風化のおそれ

《施策の提言》

学校跡地を「歴史ある桐生織を活かしたまちづくり」にするための施設に再生することで、まちを活性化！

【提言 1】
旧校舎を
織物教室に再利用
(地元企業等と連携)



産 業
民 間
公 共
市 民



【提言 2】
グラウンドを
物産会館や織物体験
教室など整備 (PFI)



織物関連施設や市有施設（遊園地や動物園他）など
地域資源